



山原

小野の  
浮世源  
氏院

来心

~ 13
R 13
5



門 へ13  
號 3743  
卷 5 4

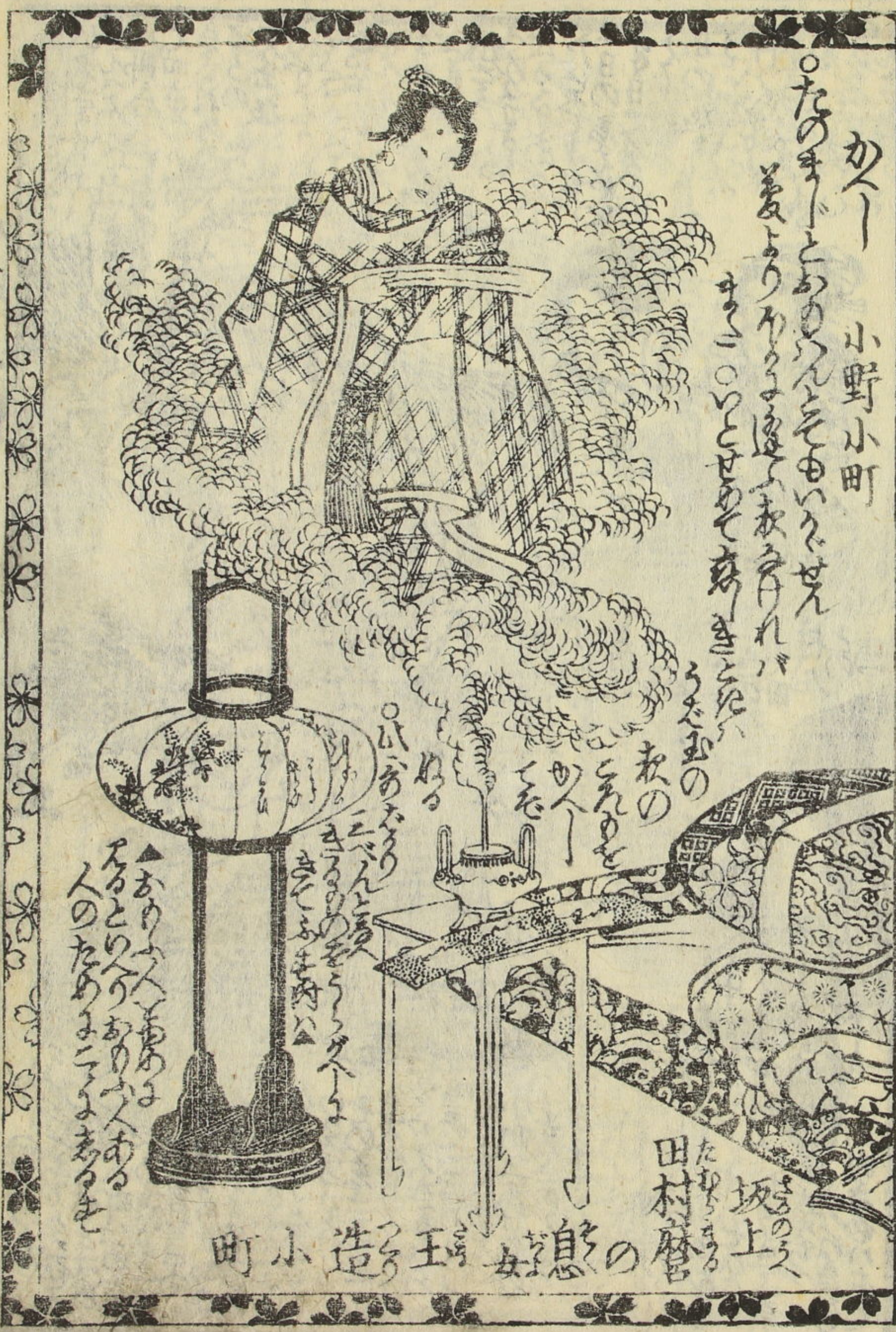
壹

小町の町がの成紀一書どもあまの事ごと兼好がい  
ごとく本傳に記さるる出羽の生れるゆゑ拾芥抄に  
え敷年在る京とていふ事さるる袖中抄の説く小町  
仁明の娘とていふ事さるる麻生とていふ事さるる  
むくしうをあまの事ごとくあまの事ごとく今も小町とていふ事さるる  
いふ事さるる小町櫛その名をいふ物語去年に新作幸  
ひま行きたれば小町が袖の二の舞とて書肆のいふ事さるる  
天保二年の弥生小町櫻の咲はなりけり

山東庵京山題



丁二冊



かゝり 小野小町

○たの手とあひのんをよむいせん  
 爰よりあつらふはてあきらめられ

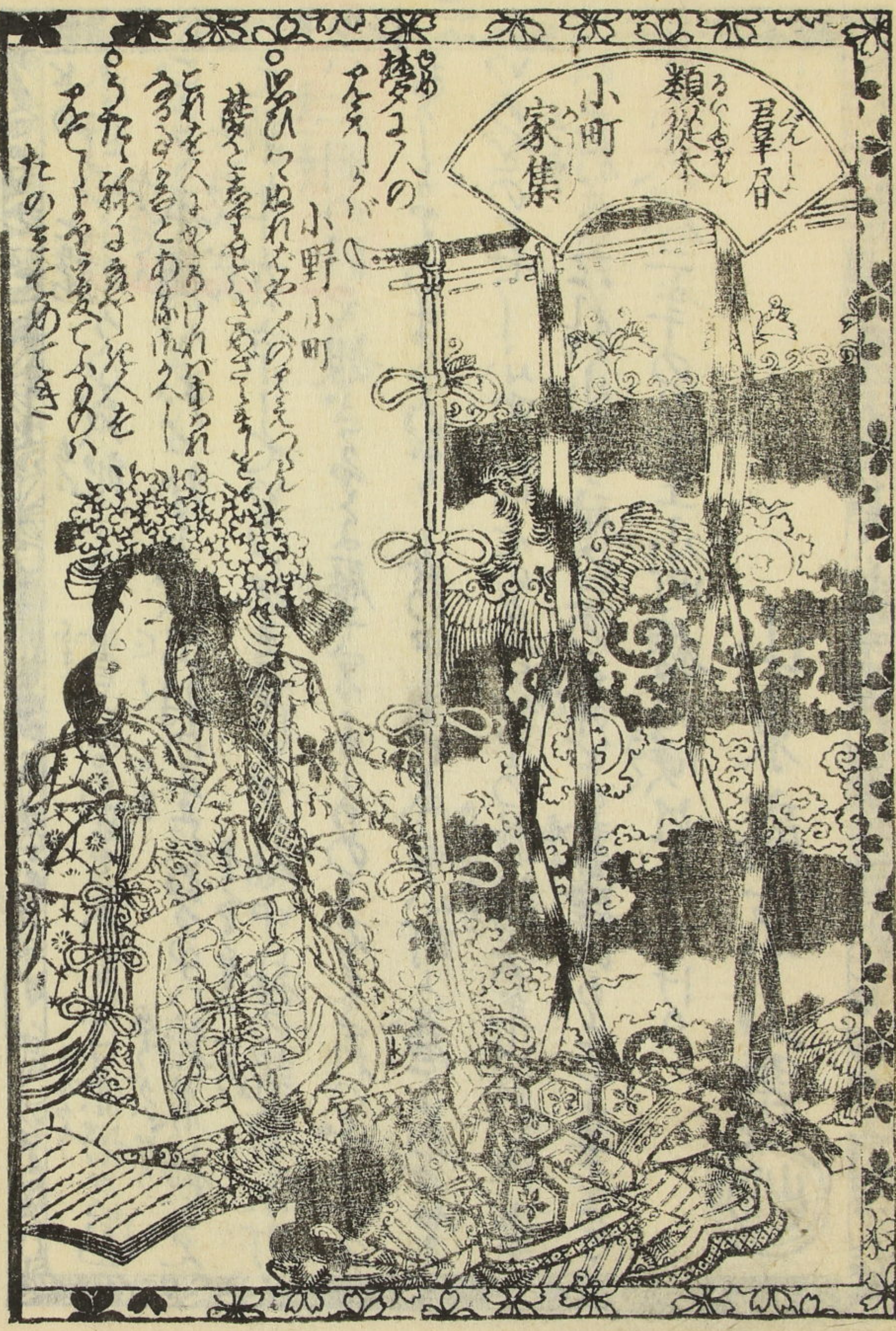
まじり○いせめてあきらめられ  
 うたむの

坂の上  
 田村磨

町の造り玉の娘

△あひのんあひの  
 人のためよこよあるを  
 ひあつらふ  
 まじり○いせめてあきらめられ

川田之儀



小町  
 家集

夢よ人の  
 心をうた

小野小町

○あひのぬれを人の心をえつん  
 夢よ心をえつんをえつんをえつん  
 これを人よあきらめられあきらめられ  
 あきらめられあきらめられ  
 うたむの娘よあきらめられ  
 うたむの娘よあきらめられ  
 たのをとめてあきらめられ

川田之儀

小町まはりの  
 花見のついでに  
 小町まはりの  
 花見のついでに  
 小町まはりの  
 花見のついでに



小町まはりの  
 花見のついでに  
 小町まはりの  
 花見のついでに  
 小町まはりの  
 花見のついでに

小町まはりの  
 花見のついでに  
 小町まはりの  
 花見のついでに  
 小町まはりの  
 花見のついでに



小町まはりの  
 花見のついでに  
 小町まはりの  
 花見のついでに  
 小町まはりの  
 花見のついでに

小町まはりの



てのこころを  
あらわすは  
いかにいかに  
あつたか  
いかにいかに  
あつたか  
いかにいかに  
あつたか

その心を  
あらわすは  
いかにいかに  
あつたか  
いかにいかに  
あつたか  
いかにいかに  
あつたか

丁

9



角持の男  
角持の女

二つの  
三分の  
おのれ  
おのれ  
おのれ

角持の男  
角持の女  
おのれ  
おのれ  
おのれ



おのれ  
おのれ  
おのれ  
おのれ  
おのれ

おのれ  
おのれ  
おのれ  
おのれ  
おのれ

角持の男

角持の女









又のさるる地は...  
小田五編  
このくもも  
おのれは  
と女は  
ら田村  
丸の口  
まのけ  
まのけ  
トとまの  
あまのり  
田村丸  
だのれ  
お目  
いあ  
おの



小田五編  
このくもも  
おのれは  
と女は  
ら田村  
丸の口  
まのけ  
まのけ  
トとまの  
あまのり  
田村丸  
だのれ  
お目  
いあ  
おの

小田五編  
このくもも  
おのれは  
と女は  
ら田村  
丸の口  
まのけ  
まのけ  
トとまの  
あまのり  
田村丸  
だのれ  
お目  
いあ  
おの



小田五編  
このくもも  
おのれは  
と女は  
ら田村  
丸の口  
まのけ  
まのけ  
トとまの  
あまのり  
田村丸  
だのれ  
お目  
いあ  
おの





